



男女共同参画推進委員会（自由討論）の様様

『下野市男女共同参画プラン策定に 関するアンケート調査』結果を お知らせします (その2)

問い合わせ先

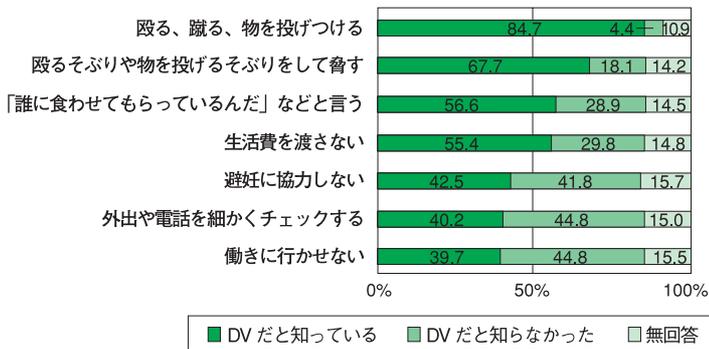
企画財政課
政策推進グループ
☎40-5552

下野市男女共同参画プランを策定するにあたり実施した市民アンケート調査結果について、先月号では「生活全般」と「就労」についてお知らせしました。今月号では、「男女が安心して健康に暮らせる環境」「男女共同参画に対する意識」「市に要望する施策」についてお知らせします。

【調査の概要】

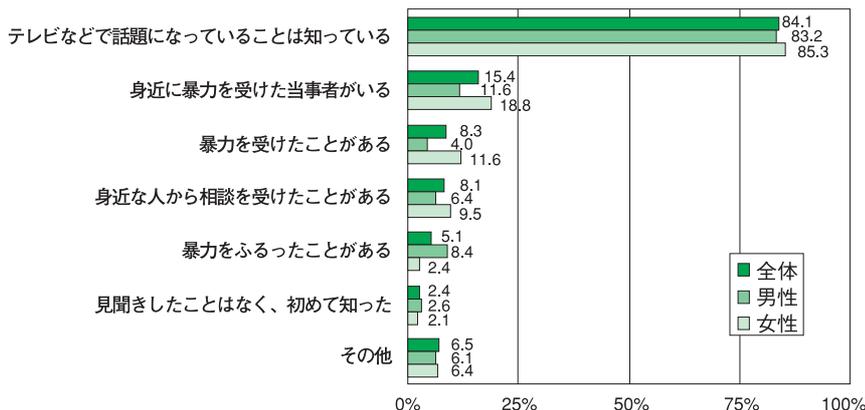
調査対象者
市内在住の18歳以上の男女二千
人（男性千人、女性千人）
回収数
779人（回収率39.0%）
調査項目
生活全般（家事の役割分担、子育てなど）
就労（職場での男女平等など）
男女が安心して健康に暮らせる環境（ドメ
スティック・バイオレンスの認識など）
男女共同参画に対する意識
市（行政）に要望する施策
今月号は、 から についての結果をお
知らせします。

DVの認識



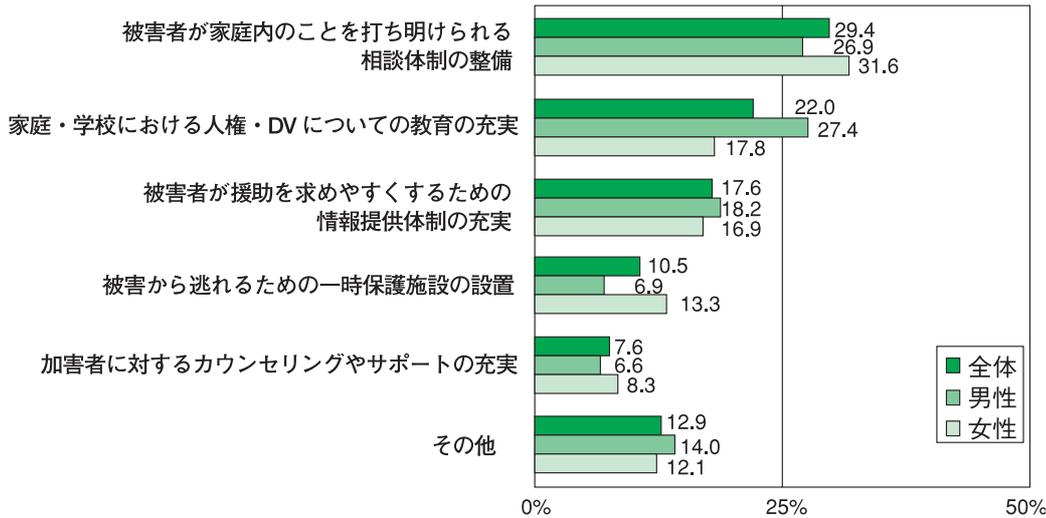
男女が安心して健康に暮らせる環境
について
ドメスティック・バイオレンス
(DV)の認識
DVとは、配偶者や恋人など親密な
関係にある(あった)パートナーから
の暴力のことです。「殴る・蹴る等」
の身体的暴力のほか、「働きに行かせ
ない」「外出等を細かくチェックする」
などの精神的暴力も該当します。
身体的暴力については、DVであ
ると認識している方が多い一方で、
精神的暴力では、相対的に少なく
なっています。

DVの経験等



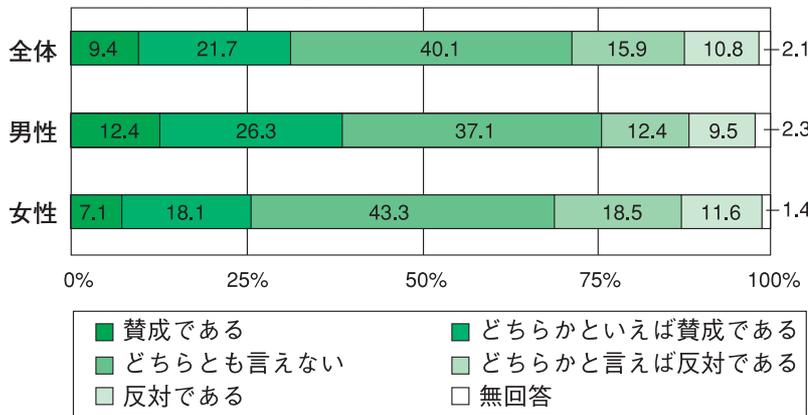
DVの経験等
DVが問題になっていることにつ
いては、多くの方が知っており、見
聞きしたことはないという方は少数
でした。
また、DVの加害者は男性が多く、
被害者は女性が多くなっており、男
性が暴力をふるい、女性が暴力を受
けるというケースが多い傾向となり
ました。

DVを防ぐために重要な取り組み



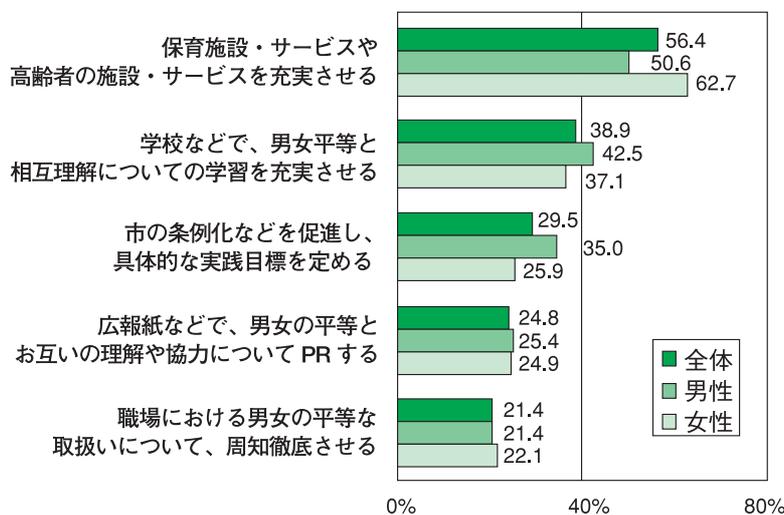
DVを防ぐために重要な取り組み
男性は、人権やDVについての教育を充実させることにより防止するべきだと考える方が多く、女性は、相談できる体制の整備など、被害に遭った後の対策が重要であると考えられる方が多くなっています。

「夫は働き、妻は家庭」という考え方



男女共同参画に対する意識について
「夫は働き、妻は家庭」という考え方
全体としては、賛成と考える方が反対よりも多い結果となっています。
しかし、男性では賛成であると考えられる方が多い一方で、女性では反対の方が多くなっており、男性と女性の考え方に違いがみられました。

男女共同参画社会形成のため市が力を入れるべきこと



「男女共同参画推進委員会」では、皆様にご協力いただいた市民アンケート結果などをもとに、下野市の課題を分析し、プラン策定のための討議を行っています。皆さんも、家庭や仕事など、身近なところから男女共同参画について考え、男女がともに協力し合い、お互いの個性を認め合える社会をつくっていきましょう。

市(行政)に要望する施策について
男女共同参画社会形成のため、市が力を入れるべきこと
保育等のための施設・サービスの充実や、男女平等と相互理解についての学習の充実に力を入れるべきであると考えられる方が多い結果となりました。

33ページに、「男女共同参画社会を考える “とちぎ県民のつどい”」について掲載しています。ぜひ、ご覧ください！！